

開催日時	令和 7 年 10 月 30 日 (金) 19 時 30 分～ 20 時 30 分
開催場所	Web 会議
出席者	松下(部長)、上田(部員)、下(部員)、寺本(部員)
欠席者	
記録者	上田
議題 1	令和 7 年度 第 3 回予防に資するジェネラリスト研について
決定事項	○予防に資するジェネラリスト研修 とは 健康増進部および保健福祉部による共同事業 患者・利用者の在宅生活での生活機能向上を担うことができる PT の育成 ○研修方法 基礎的な知識についてはオンライン研修 研修内容 ○総論 映像を作成。研修の導入として視聴。(監事 小森さん) ○コンテンツ 各部、年1回は活動理念に基づくテーマを決めてオンライン研修を実施 主要テーマは2～3年サイクルで繰り返す <u>議題① 研修テーマ、目的、到達目標について</u> テーマ 「職場における腰痛予防」 今年度の健康増進部のテーマは「労働災害」 仕事をしている県下の方および企業に対して腰痛予防を士会会員が働きかけられるようになる 参考 <u>腰痛予防対策(厚生労働省)</u> <u>健康づくり・予防活動・保健事業(日本理学療法士協会)</u> ○目的 活躍の場は職場内で広めるか？ 地域(院外)の活動で広めるか？ 昨年度作成をした動画を活用してもらい、活動をしてもらう 企業や社会に理学療法士が求められている背景を知ってもらう 職場や企業での腰痛予防に資する対策を知ってもらう アドバイスができるPTを育成する 機能障害だけでなく、健康面や個人因子、環境因子の側面からも伝えられる

	非特異的な腰痛に対する対応 ○方法 外部から講師を呼ぶ？ ノーリフトを含め、腰痛予防×理学療法の研究をしている人が県内にいないか調査(担当:松下さん) ○研修の形態 Web 研修(場所は三宮近郊) ○到達目標 内容 3部 or4部構成を検討 ・腰痛概論(総論) 社会的背景(高齢者の就労)を知る 腰痛が社会経済に与える影響を知る 特異的腰痛と非特異的腰痛の違いを知る ・腰痛を発症したときの対処方法(評価) 原因分析を知る ・ケーススタディー(模擬症例から考える) 知識を指導場面に落とし込める 診断名や医師の指示から評価をたてることが多いが、腰痛は多面的な評価(見方)をできるようになる 職業特性のイメージをもてるようにする 病院施設に勤務する介護職、送迎ドライバー、事務職の就労環境 ・腰痛にならないための方法(作成動画を活用する) ・決定事項 上記内容で大枠はOK 今後の to Do 目的、対象、到達目標を整理 <u>議題② プロジェクト進捗について</u> 講師について確認(外部講師か、健康増進部で講師を勤めるか) 広報について 今後調整する。 ○ 寺本さん、下さんを再度、LINE ワークスに招待する
継続事項	
次回部会 日時・場所	11月21日 Web 会議
今後の予定	